

























つしん景況レポート

作州地域中小企業景況動向調査 2013.1~3月期 第5回

【特別調査-中小企業が新政権に期待すること】

津山信用金庫は、作州地域内の経営者のご協力のもと、第5回つしん景況レポートを発刊させていただきました。作州地域の景況感を経営者の皆様方と共有し、皆様方のよきパートナーとして地域の繁栄に努めてまいります。

■概況：1月～3月の業況は曇、4月～6月の見通しは晴れ時々曇■

【地域別天気図】	2012年 1月～3月	2012年 4月～6月	2012年 7月～9月	前期実績 10月～12月	今期実績 1月～3月	来期見通し 4月～6月
作州地域全体						
津山鏡野地域						
真庭地域						
美作勝央地域						

作州地域全体では、今期(2013年1月～3月)の業況判断DIはプラス6.8となり、前期比5.8ポイント下降した。

来期(2013年4月～6月)はプラス25.7と大幅に改善する見通しとなっている。

地域別には、今期も全地域でプラスとなったが、津山鏡野地域は前期比2.3ポイント上昇、真庭地域は前期比16.1ポイント下降、美作勝央地域は22.2ポイント下降した。来期は全地域で大幅に改善する見通しとなっている。

業況判断DI	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い
作州地域全体	12.6	31.1	44.6	24.3	6.8	35.8	54.1	10.1	25.7
津山鏡野地域	3.2	31.1	43.3	25.6	5.5	34.4	55.6	10.0	24.4
真庭地域	25.8	32.3	45.2	22.6	9.7	48.4	38.7	12.9	35.5
美作勝央地域	29.6	29.6	48.1	22.2	7.4	25.9	66.7	7.4	18.5

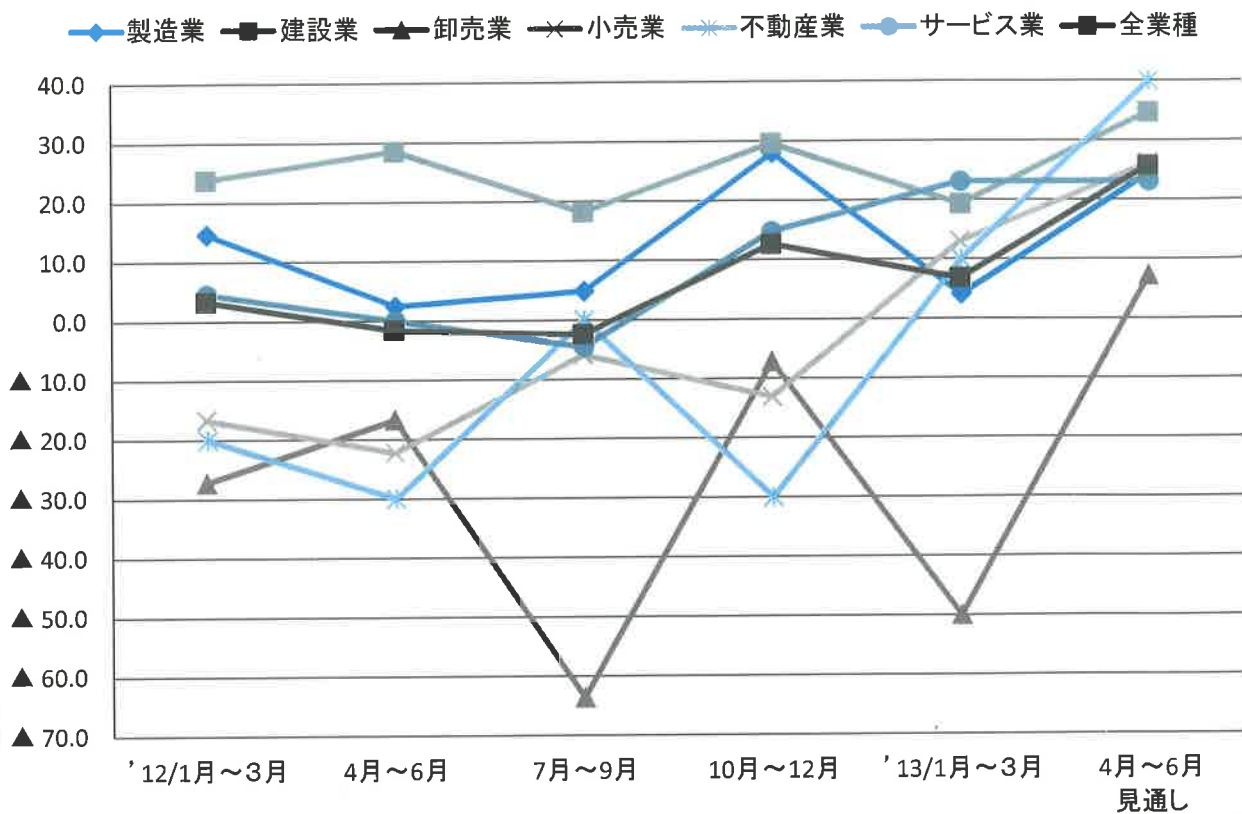
※ DIとは、Diffusion Index の略で、「良い(または増加、上昇、楽)」と回答があった企業数の割合(%)から「悪い(または減少、下降、苦しい)」と回答があった企業数の割合(%)を差し引いた値

■天気図のご説明■

DI	30以上	10以上～ 30未満	0以上～ 10未満	△10以上 ～ 0未満	△30以上 ～ △10未満	△30未満
天気図						

■全業種総合■

業種別業況判断DIの推移





全業種	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少
業況	12.6	31.1	44.6	24.3	6.8	35.8	54.1	10.1	25.7
売上	25.2	34.5	36.5	29.1	5.4	41.9	39.2	18.9	23.0
収益	19.2	29.1	42.6	28.4	0.7	39.9	37.8	22.3	17.6

- 業況判断DIは、今期(2013年1月~3月)はプラス6.8となり、前期比5.8ポイント下降した。来期(2013年4月~6月)見通しはプラス25.7となっている。
- 売上DIは、今期はプラス5.4となり、前期比19.8ポイント下降した。来期見通しはプラス23.0となっている。
- 収益DIは、今期はプラス0.7となり、前期比18.5ポイント下降した。来期見通しはプラス17.6となっている。

全業種	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	楽・過剰	変らず・適正	苦しい・不足	DI	楽・過剰	変らず・適正	苦しい・不足
資金繰り	▲ 3.3	14.2	72.3	13.5	0.7	11.5	75.7	12.8	▲ 1.3
雇用(人手過不足)	▲ 22.6	7.4	66.9	25.7	▲ 18.3	6.1	70.9	23.0	▲ 16.9
設備投資	▲ 4.3	2.9	83.3	13.8	▲ 10.9	2.9	85.5	11.6	▲ 8.7

- 資金繰り判断DIは、今期(2013年1月~3月)はプラス0.7となったが、来期(2013年4月~6月)見通しはマイナス1.3となっている。
- 人手過不足判断DIは、今期はマイナス18.3となった。来期見通しはマイナス16.9となっている。
- 設備投資DIは、今期はマイナス10.9となった。来期見通しはマイナス8.7となっている。

■ 製造業 ■



製造業全般	前期	今期実績 				来期見通し 			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	28.0	32.7	38.8	28.6	4.1	38.8	46.9	14.3	24.5
売上	36.0	26.5	36.7	36.7	▲ 10.2	44.9	38.8	16.3	28.6
収益	34.0	26.5	36.7	36.7	▲ 10.2	42.9	40.8	16.3	26.6

● 製造業の業況判断DIは、今期(2013年1月～3月)プラス4.1となった。来期(2013年4月～6月)見通しはプラス24.5となっている。

● 売上判断DIは、今期はマイナス10.2、来期見通しはプラス28.6となっている。

● 収益判断DIは、今期はマイナス10.2、来期見通しはプラス26.6となっている。

● 今期は、金属製品製造業と農林業で前期比大幅にポイントが下降した。

製造業のうち： 金属製品製造業	前期	今期実績 				来期見通し 			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	63.6	36.4	45.5	18.2	18.2	27.3	54.5	18.2	9.1
売上	36.3	18.2	54.5	27.3	▲ 9.1	27.3	54.5	18.2	9.1
収益	36.3	9.1	45.5	45.5	▲ 36.4	18.2	63.6	18.2	0.0

● 金属製品製造業の業況判断DIは、今期(2013年1月～3月)はプラス18.2となり、前期比45.4ポイント下降した。来期(2013年4月～6月)見通しはプラス9.1となっている。

● 売上判断DIは、今期はマイナス9.1、来期見通しはプラス9.1となっている。

● 収益判断DIは、今期はマイナス36.4、来期見通しはゼロとなっている。

● 今期、売上・収益判断DIがマイナスになったのは、販売納入先からの値下げ要請による販売単価下落と為替レート変動による仕入単価の上昇が影響している。

製造業のうち： 木材・木製品製造業	前期	今期実績 				来期見通し 			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	40.0	60.0	30.0	10.0	50.0	70.0	30.0	0.0	70.0
売上	60.0	20.0	50.0	30.0	▲ 10.0	30.0	60.0	10.0	20.0
収益	40.0	40.0	60.0	0.0	40.0	30.0	60.0	10.0	20.0

● 木材・木製品製造業の業況判断DIは、今期(2013年1月～3月)プラス50.0となった。来期(2013年4月～6月)見通しもプラス70.0となっている。

● 売上判断DIは、今期マイナス10.0、来期見通しはプラス20.0となっている。

● 収益判断DIは、今期プラス40.0、来期見通しはプラス20.0となっている。

● 今期は原木入手難から生産量のアップにつながらなかったが、外貨建て仕入単価の上昇に加えて円安による外国材の値上りで国産材の受注が増加し、販売単価も上昇傾向にあるので、来期は売上高・利益の減少を予想する企業は少なくなっている。



製造業のうち： 農林業	前期	今期実績 				来期見通し 			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	9.1	10.0	40.0	50.0	▲ 40.0	40.0	40.0	20.0	20.0
売上	36.4	20.0	10.0	70.0	▲ 50.0	80.0	10.0	10.0	70.0
収益	45.4	10.0	20.0	70.0	▲ 60.0	80.0	10.0	10.0	70.0

- 農林業の業況判断DIは、今期(2013年1月～3月)マイナス40.0となった。来期(2013年4月～6月)見通しはプラス20.0となっている。
- 売上判断DIは、今期マイナス50.0、来期見通しはプラス70.0となっている。
- 収益判断DIは、今期マイナス60.0、来期見通しはプラス70.0となっている。
- 農林業は、冬場の収穫減や作業効率の悪さ等の季節的要因が影響している。
- 原木相場は、前年後半の底値圏から回復傾向になっている。

■建設業■

建設業	前期	今期実績 				来期見通し 			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	29.6	30.8	57.7	11.5	19.3	46.2	42.3	11.5	34.7
売上	29.6	38.5	42.3	19.2	19.3	53.8	26.9	19.2	34.6
収益	18.5	23.1	57.7	19.2	3.9	46.2	26.9	26.9	19.3

- 建設業の業況判断DIは、今期(2013年1月～3月)プラス19.3となった。来期(2013年4月～6月)見通しはプラス34.7となっている。
- 売上判断DIは、今期プラス19.3、来期見通しはプラス34.6となっている。
- 収益判断DIは、今期プラス3.9、来期見通しはプラス19.3となっている。
- 住宅建設を除く建設業の業況判断DIは、今期プラス7.1となり、前期比19.6ポイント下降した。来期見通しはプラス14.3となっている。

建設業のうち： 住宅建設	前期	今期実績 				来期見通し 			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	33.3	41.7	50.0	8.3	33.4	66.7	25.0	8.3	58.4
売上	25.0	50.0	41.7	8.3	41.7	75.0	16.7	8.3	66.7
収益	25.0	33.3	58.3	8.3	25.0	58.3	25.0	16.7	41.6

- 住宅建設業者の業況判断DIは、今期(2013年1月～3月)プラス33.4となった。来期(2013年4月～6月)の見通しはプラス58.4となっている。
- 売上判断DIは、今期プラス41.7、来期見通しもプラス66.7となっている。
- 収益判断DIは、今期プラス25.0、来期見通しはプラス41.6となっている。
- 消費税引上げ(平成26年4月より8%の予定)を控えて、不動産物件の問い合わせや住宅展示場への来店客も増加している。5%の消費税が適用される25年9月までの営業を強化し、引き続き売上増加を見込む企業が多い。

■卸売業■



卸売業	前期	今期実績 				来期見通し 			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	▲7.2	7.1	35.7	57.1	▲50.0	28.6	50.0	21.4	7.2
売上	21.4	14.3	14.3	71.4	▲57.1	50.0	35.7	14.3	35.7
収益	35.7	21.4	7.1	71.4	▲50.0	50.0	28.6	21.4	28.6

- 卸売業の業況判断DIは、今期(2013年1月～3月)マイナス50.0となった。来期(2013年4月～6月)見通しはプラス7.2となっている。
- 売上判断DIは、今期マイナス57.1、来期見通しはプラス35.7となっている。
- 収益判断DIは、今期マイナス50.0、来期見通しはプラス28.6となっている。
- 作州地域を商圈とする企業が多く、今期は、前期の反動から売上・収益とも減少した企業が多かったが、来期は増加を見込む企業が半数となっている。

■小売業■

小売業	前期	今期実績 				来期見通し 			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	▲ 13.1	39.1	34.8	26.1	13.0	34.8	56.5	8.7	26.1
売上	17.4	60.9	26.1	13.0	47.9	30.4	43.5	26.1	4.3
収益	▲ 4.4	47.8	43.5	8.7	39.1	39.1	30.4	30.4	8.7

- 小売業の業況判断DIは、今期(2013年1月～3月)プラス13.0となった。来期(2013年4月～6月)見通しはプラス26.1となっている。
- 売上判断DIは、今期プラス47.9、来期見通しはプラス4.3となっている。
- 収益判断DIは、今期プラス39.1、来期見通しはプラス8.7となっている。
- 自動車小売業と燃料小売業で売上増加となっている。そのうち燃料小売業は、厳冬によるガソリン・灯油・ガスの使用量の増加と円安による単価アップにより売上が増加している。

小売業のうち： 自動車小売業	前期	今期実績 				来期見通し 			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	▲ 33.4	33.3	55.6	11.1	22.2	11.1	88.9	0.0	11.1
売上	▲ 22.2	44.4	44.4	11.1	33.3	11.1	55.6	33.3	▲ 22.2
収益	▲ 44.4	44.4	55.6	0.0	44.4	22.2	44.4	33.3	▲ 11.1

- 自動車小売業の業況判断DIは、今期(2013年1月～3月)プラス22.2となった。来期(2013年4月～6月)見通しはプラス11.1となっている。
- 売上判断DIは、今期プラス33.3、来期見通しはマイナス22.2となっている。
- 収益判断DIは、今期プラス44.4、来期見通しはマイナス11.1となっている。

■不動産業■



不動産業	前期	今期実績 				来期見通し 			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	▲ 30.0	30.0	50.0	20.0	10.0	40.0	60.0	0.0	40.0
売上	20.0	20.0	70.0	10.0	10.0	40.0	60.0	0.0	40.0
収益	0.0	10.0	80.0	10.0	0.0	40.0	60.0	0.0	40.0

- 不動産業の業況判断DIは、今期(2013年1月～3月)プラス10.0となった。来期(2013年4月～6月)見通しはプラス40.0となっている。
- 売上判断DIは、今期プラス10.0、来期見通しはプラス40.0となっている。
- 収益判断DIは、今期ゼロ、来期見通しはプラス40.0となっている。
- 消費税の引き上げを控え、不動産の問い合わせが増加しているとの声が多くあった。

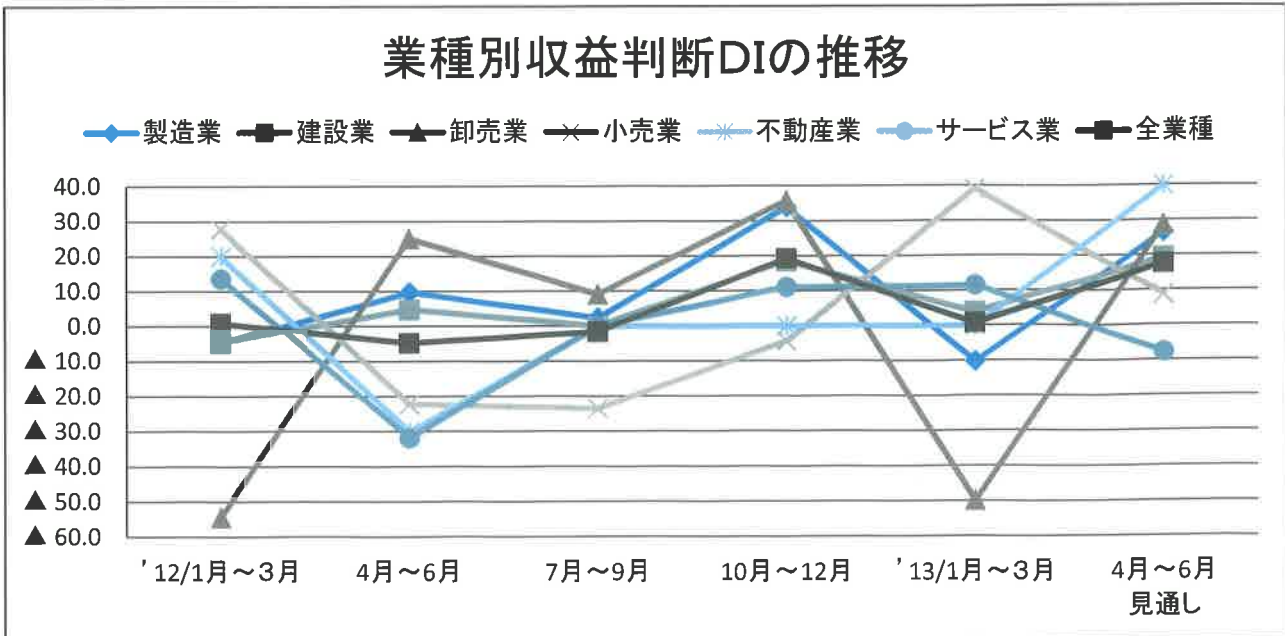
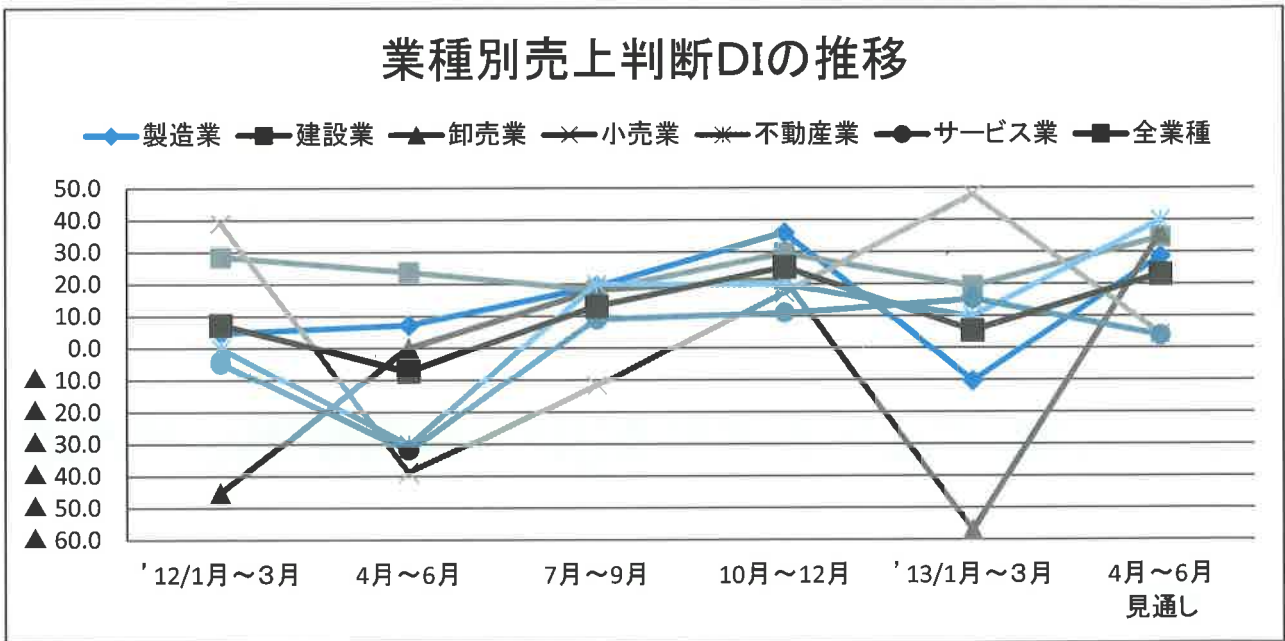
■サービス業■

サービス業	前期	今期実績 				来期見通し 			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	14.8	34.6	53.8	11.5	23.1	23.1	76.9	0.0	23.1
売上	11.1	38.5	38.5	23.1	15.4	30.8	42.3	26.9	3.9
収益	11.1	34.6	42.3	23.1	11.5	23.1	46.2	30.8	▲ 7.7

- サービス業の業況判断DIは、今期（2013年1月～3月）プラス23.1となった。来期（2013年4月～6月）見通しもプラス23.1となっている。
- 売上判断DIは、今期プラス15.4、来期見通しはプラス3.9となっている。
- 収益判断DIは、今期プラス11.5、来期見通しはマイナス7.7となっている。

サービス業のうち： 医療福祉業	前期	今期実績 				来期見通し 			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	16.6	45.5	45.5	9.1	36.4	27.3	72.7	0.0	27.3
売上	8.3	45.5	36.4	18.2	27.3	18.2	63.6	18.2	0.0
収益	16.6	36.4	45.5	18.2	18.2	18.2	63.6	18.2	0.0

- 医療福祉業の業況判断DIは、今期（2013年1月～3月）プラス36.4となった。来期（2013年4月～6月）見通しはプラス27.3となっている。
- 売上判断DIは、今期プラス27.3、来期見通しはゼロとなっている。
- 収益判断DIは、今期プラス18.2、来期見通しはゼロとなっている。



■ 昨年同期比較売上高・収益 ■

業種別	増加	変わらず	減少	DI
製造業	30.6	49.0	20.4	10.2
建設業	57.7	30.8	11.5	46.2
卸売業	14.3	35.7	50.0	▲ 35.7
小売業	34.8	56.5	8.7	26.1
不動産業	10.0	60.0	30.0	▲ 20.0
サービス業	46.2	26.9	26.9	19.3
総計	35.8	42.6	21.6	14.2

業種別	増加	変わらず	減少	DI
製造業	32.7	40.8	26.5	6.2
建設業	38.5	53.8	7.7	30.8
卸売業	7.1	57.1	35.7	▲ 28.6
小売業	30.4	60.9	8.7	21.7
不動産業	10.0	60.0	30.0	▲ 20.0
サービス業	50.0	23.1	26.9	23.1
総計	32.4	45.9	21.6	10.8

業種別	増加	変わらず	減少	DI
卸売業	14.3	78.6	7.1	7.2
小売業	21.7	69.6	8.7	13.0
総計	18.9	73.0	8.1	10.8

① 昨年同期(2012年1月～3月)比較での売上高DIは、卸売業と不動産業を除く業種でプラスとなっており、全業種でプラス14.2となった。

② 昨年同期比較収益DIも、卸売業と不動産業を除く業種でプラスとなっており、全業種でプラス10.8となった。

③ 昨年同期比較販売価格DIは、卸売業はプラス7.2、小売業はプラス13.0となった。

■ 販売価格 ■

販売価格DI	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	上昇	変わらず	下降	DI	上昇	変わらず	下降
製造業	10.0	14.3	77.6	8.2	6.1	24.5	71.4	4.1	20.4
建設業	0.0	7.7	84.6	7.7	0.0	11.5	76.9	11.5	0.0
卸売業	▲ 7.1	14.3	78.6	7.1	7.2	57.1	42.9	0.0	57.1
小売業	▲ 4.3	34.8	60.9	4.3	30.5	21.7	69.6	8.7	13.0
不動産業	▲ 50.0	0.0	90.0	10.0	▲ 10.0	10.0	90.0	0.0	10.0
サービス業	▲ 11.1	3.8	88.5	7.7	▲ 3.9	3.8	84.6	11.5	▲ 7.7
総計	▲ 3.3	13.5	79.1	7.4	6.1	20.3	73.0	6.8	13.5

● 販売価格DIは、今期は卸売業と小売業がプラスに転じ、全業種でプラス6.1となった。来期見通しは、全業種でプラス13.5となっている。卸売業、製造業、小売業の順で上昇を予想する企業数の割合が多くなっている。

■ 仕入価格 ■

仕入価格DI	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	上昇	変わらず	下降	DI	上昇	変わらず	下降
製造業	6.0	24.5	69.4	6.1	18.4	42.9	51.0	6.1	36.8
建設業	▲ 7.4	30.8	65.4	3.8	27.0	38.5	61.5	0.0	38.5
卸売業	0.0	14.3	85.7	0.0	14.3	57.1	42.9	0.0	57.1
小売業	21.8	34.8	65.2	0.0	34.8	17.4	73.9	8.7	8.7
不動産業	▲ 30.0	0.0	90.0	10.0	▲ 10.0	0.0	100.0	0.0	0.0
サービス業	7.4	19.2	80.8	0.0	19.2	30.8	69.2	0.0	30.8
総計	3.3	23.6	73.0	3.4	20.2	34.5	62.2	3.4	31.1

● 仕入価格DIは、今期は建設業がプラスに転じ、全業種でプラス20.2となった。来期見通しも全業種でプラス31.1となっている。円安によりガソリン価格、A重油、ガス、電気、鋼材や木材が値上げとなったり、値上げが予定されている。

■在庫■

在庫DI	前期	今期実績				来期見通し			
		業種別	DI	過剰傾向	適正	不足傾向	DI	過剰傾向	適正
製造業	6.0	12.2	77.6	10.2	2.0	8.2	81.6	10.2	▲ 2.0
建設業	7.4	7.7	88.5	3.8	3.9	7.7	88.5	3.8	3.9
卸売業	14.3	7.1	85.7	7.1	0.0	14.3	85.7	0.0	14.3
小売業	13.1	21.7	73.9	4.3	17.4	17.4	69.6	13.0	4.4
不動産業	▲ 40.0	20.0	40.0	40.0	▲ 20.0	10.0	60.0	30.0	▲ 20.0
総計	4.9	13.1	77.0	9.8	3.3	10.7	79.5	9.8	0.9

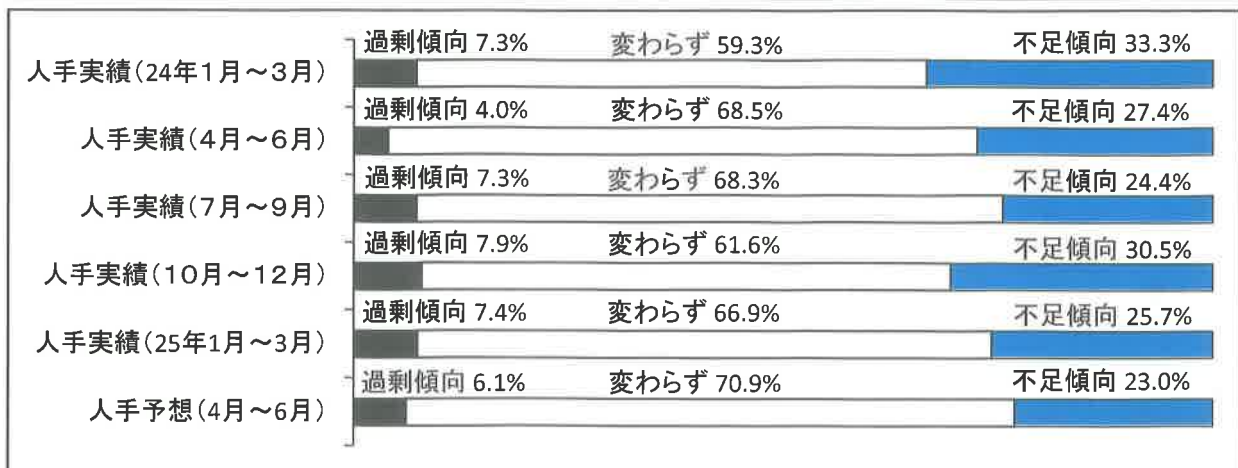
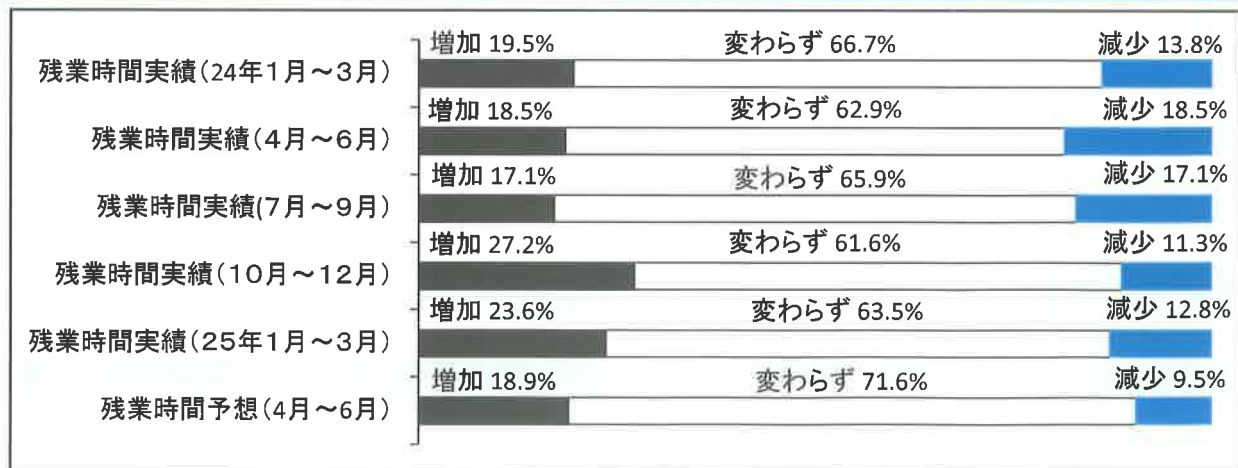
●在庫DIは、今期は不動産業を除きプラスとなり全業種でプラス3.3となった。来期見通しは、全業種でプラス0.9となっている。不動産業は商品物件の不足を経営上の問題点としている企業が多い。

■受注残■

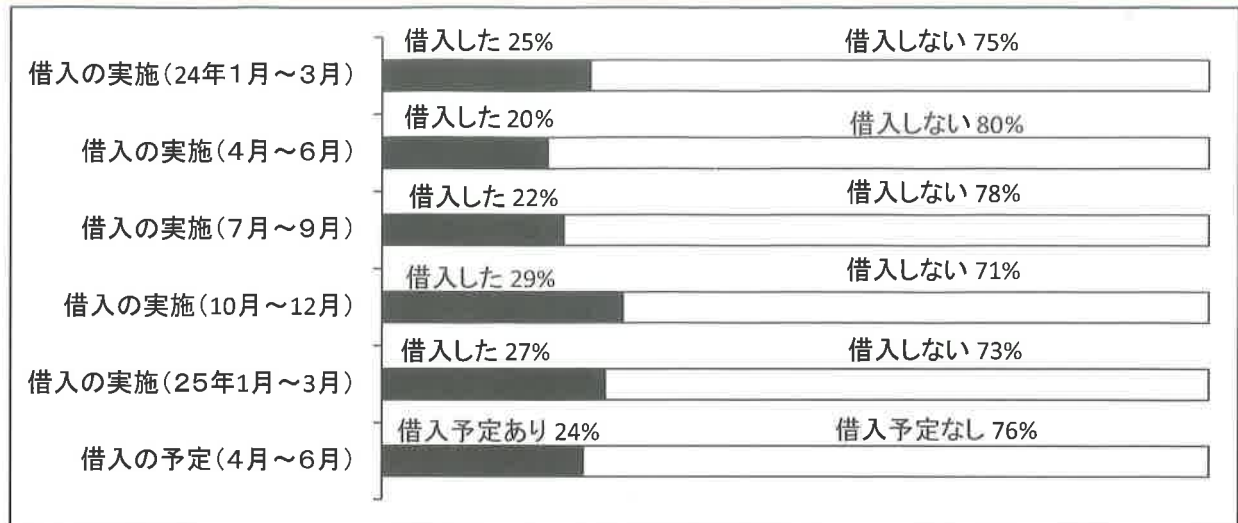
受注残DI	前期	今期実績				来期見通し			
		業種別	DI	増加	変わらず	減少	DI	増加	変わらず
製造業	32.0	30.6	53.1	16.3	14.3	24.5	61.2	14.3	10.2
建設業	40.8	34.6	42.3	23.1	11.5	50.0	26.9	23.1	26.9
総計	35.0	32.0	49.3	18.7	13.3	33.3	49.3	17.3	16.0

●受注残DIは、今期は前期比21.7ポイント下降し、プラス13.3となった。来期見通しはプラス16.0となっている。

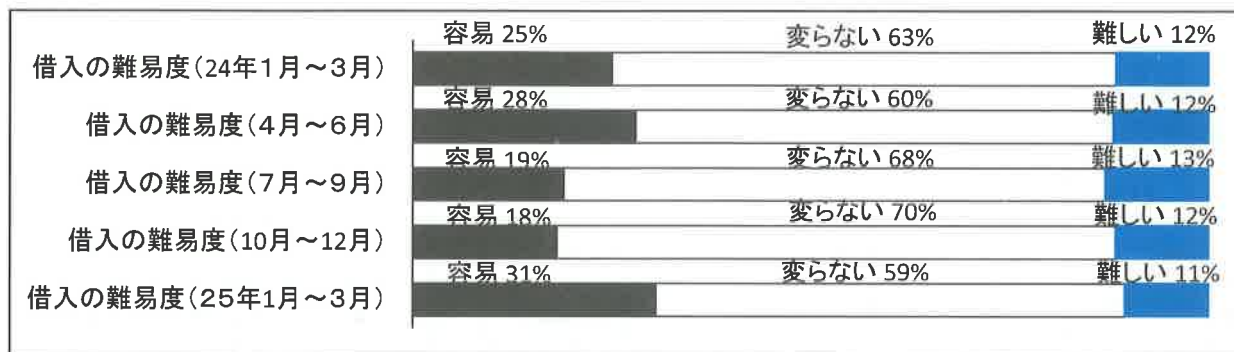
■雇用面の動き■



借入金の動き・難易度



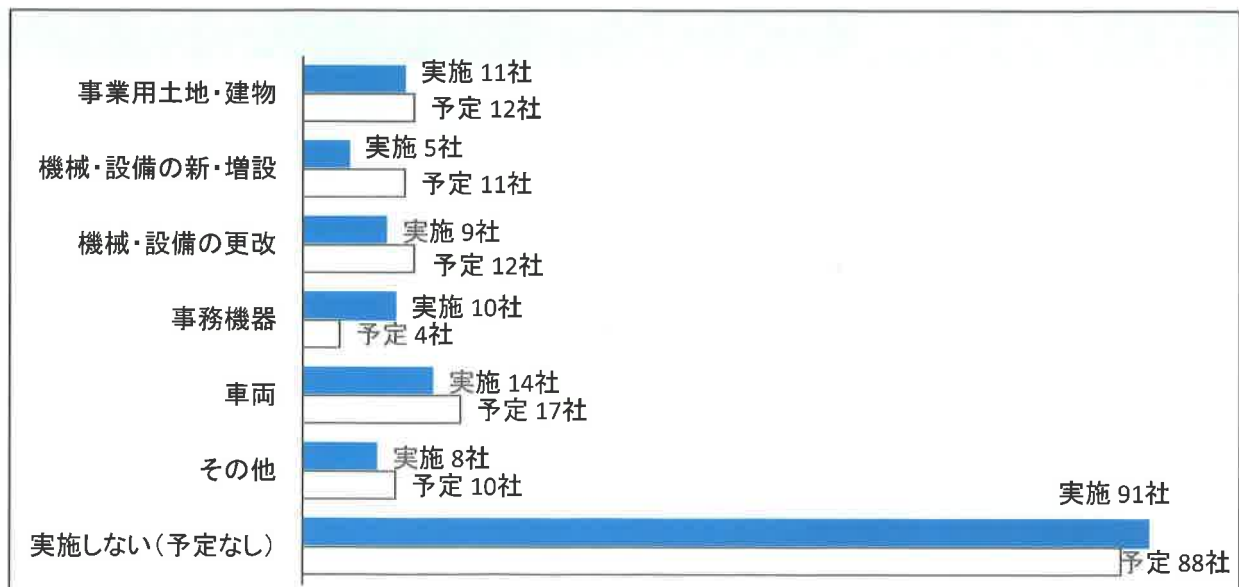
●借入金の実施(25年1月～3月)と予定(4月～6月)している企業の割合は、前年同期対比微増となった。



●借入金の難易度(25年1月～3月)は、容易と回答した企業の割合が増加した。

設備投資の実施(1月～3月)と予定(4月～6月)

●全業種(除く不動産業:有効回答計138社)

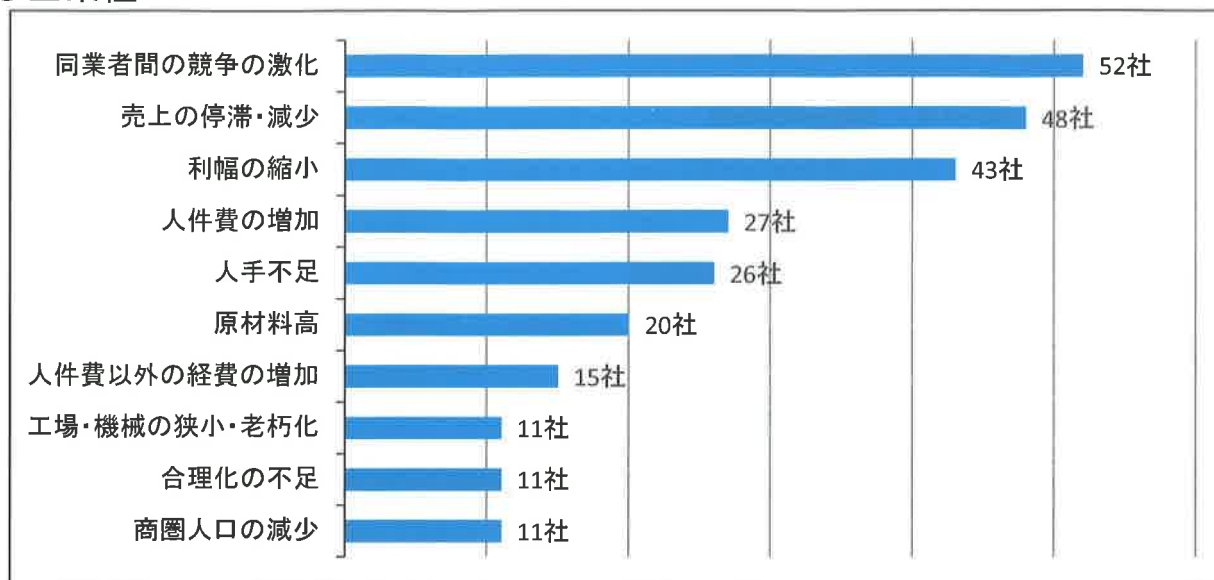


●設備投資の実施(1月～3月)は、実施しない企業の割合が66%であった。

●設備投資の予定(4月～6月)は、予定なしの企業の割合が64%であった。

■ 経営上の問題点 ■

● 全業種



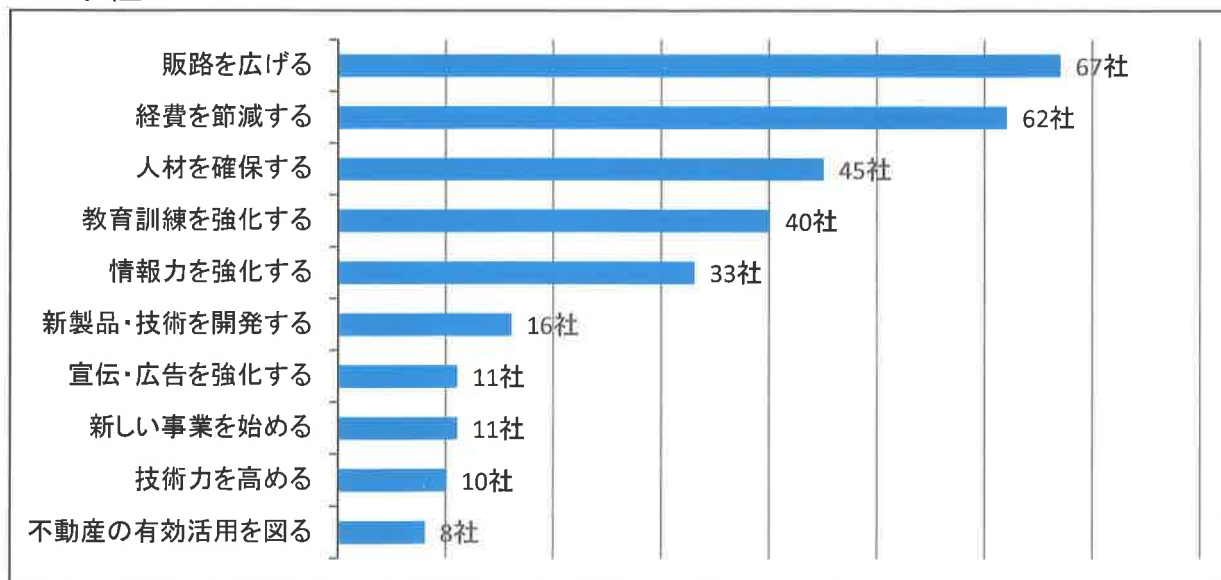
● 上位5項目は前回と同じ項目であったが、今回の特色として円安に起因する原材料高と人件費以外の経費の増加（ガソリン、A重油等の値上がり）を回答した企業が増加した。

● 業種別

	製造業	%	建設業	%	卸売業	%	小売業	%	不動産業	%	サービス業	%
1位	原材料高	16.3	同業者間の競争の激化	19.7	売上の停滞・減少	23.7	利幅の縮小	16.4	商品物件の不足	21.7	人件費の増加	17.5
2位	同業者間の競争の激化	13.8	利幅の縮小	15.2	利幅の縮小	18.4	商圈人口の減少	16.4	利幅の縮小	21.7	人手不足	15.9
3位	売上の停滞・減少	9.8	人手不足	10.6	同業者間の競争の激化	13.2	売上の停滞・減少	14.8	同業者間の競争の激化	21.7	売上の停滞・減少	9.5
4位	工場・機械の狭小・老朽化	8.9	売上の停滞・減少	10.6	取引先の減少	7.9	同業者間の競争の激化	13.1	売上の停滞・減少	21.7	人件費以外の経費の増加	7.9
5位	為替レートの変動	5.7	材料価格の上昇	9.1	合理化の不足	5.3	大型店との競争の激化	6.6	大手企業との競争の激化	4.3	料金の値下げ要請	7.9

■ 当面の重点経営施策 ■

● 全業種



●業種別

	製造業	%	建設業	%	卸売業	%	小売業	%	不動産業	%	サービス業	%
1位	販路を広げる	17.9	販路を広げる	22.6	販路を広げる	33.3	経費を節減する	19.3	販路を広げる	30.8	人材を確保する	21.1
2位	経費を節減する	17.1	人材を確保する	16.1	経費を節減する	25.0	教育訓練を強化する	17.5	情報力を強化する	26.9	経費を節減する	16.9
3位	新製品・技術を開発する	13.0	技術力を高める	16.1	情報力を強化する	19.4	人材を確保する	14.0	不動産の有効活用を図る	11.5	販路を広げる	15.5

■調査員の調査コメントから■

○アベノミクスによる円安、株高の影響から景況感はよくなっていると思っはいるものの、実感はないとする経営者が多い。

○ガソリン、A重油の値上りから経費増、原材料費高となっているのが実感である。さらに電気、ガス、鋼材、木材も値上げとなったり、仕入先が値上げを通告してきている。

○建築・土木作業員が不足している。日当が高いところに流れるばかりでなく、リストラにより作業員を削減してきた影響もあるとの声があった。

○公共工事では、3月末の年度末に完成させるケースが多いが、作業員の確保ができないことから工期延長を申請している企業もあるという。

○先日成立した新政権の補正予算は公共工事が多いと報道されているが、耐震工事に絡む事業が多く調査企業からの期待する声は少なかった。

○反面、例年同様に新政権の25年度予算成立後の発注に期待している企業が多かった。したがって、4月～6月期は工事の端境期(はざかいき)と予想している企業が多かった。

○新政権の25年度予算に当初予定していなかった補助金予算が計上されたことにより、発注企業からそのメリットを得るため予算成立後の発注としたいとの要望があり、機械の受注時期が延期となった企業もあった。

○納期が長い部品は価格の安い海外から調達するケースが多く、国内の中小製造業者への発注は短納期となっているため、中小製造業者からは翌月の計画が立たないとの声が多かった。また、資材が値上がりしても販売価格への転嫁は難しいとの声もあった。

○製材工場では、外材が円安で大幅に高くなったことから受注が多くなっているが、原木入手難から納期が遅れているとの声があった。また、製材工場の機械設備計画で補助金予算額を上回る申請が出ているようだとの声も聞かれた。

○不動産業では、消費税の引上げによる駆け込み需要から問い合わせが多くなってきており、引き続き商品物件が不足している。被災地域からの移住者との取引成立も数件あったという。

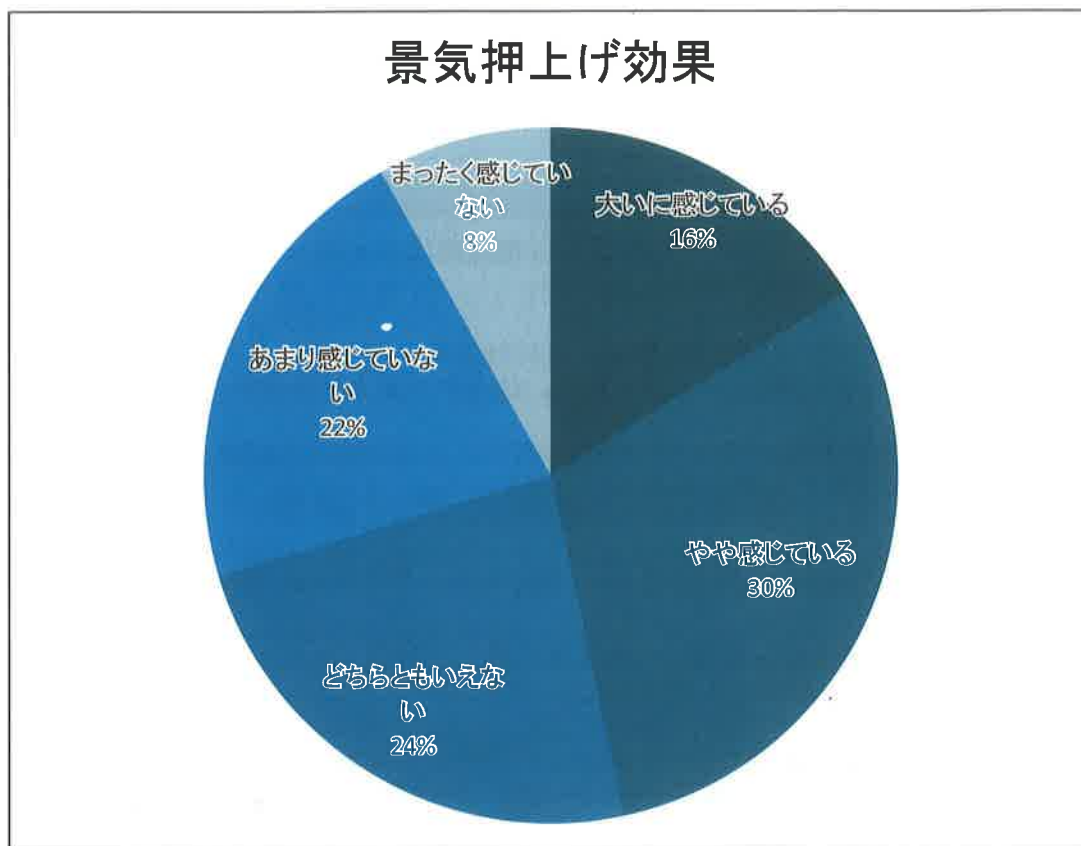
○円安、株高が続いている景況感が経営者の投資マインドを刺激しているようであり、具体的な投資スケジュールは未定であるが、倉庫増設、機械や車両等の更新を検討している経営者が多かった。

以上

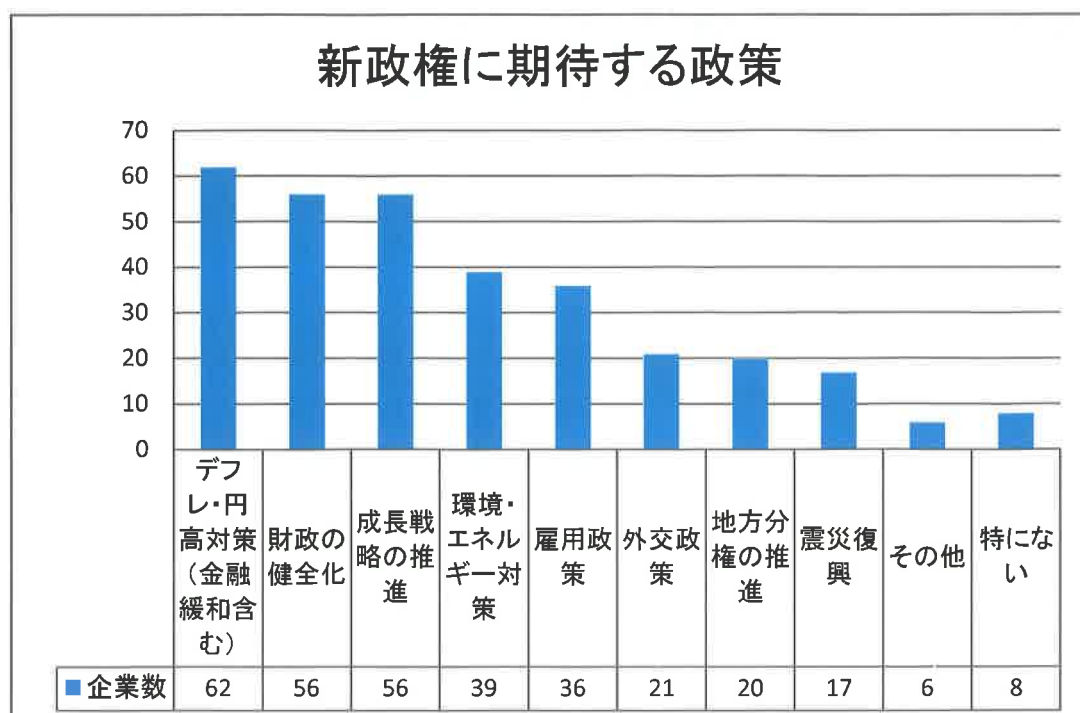
☆☆☆ 特別調査 ☆☆☆

「中小企業が新政権に期待すること」

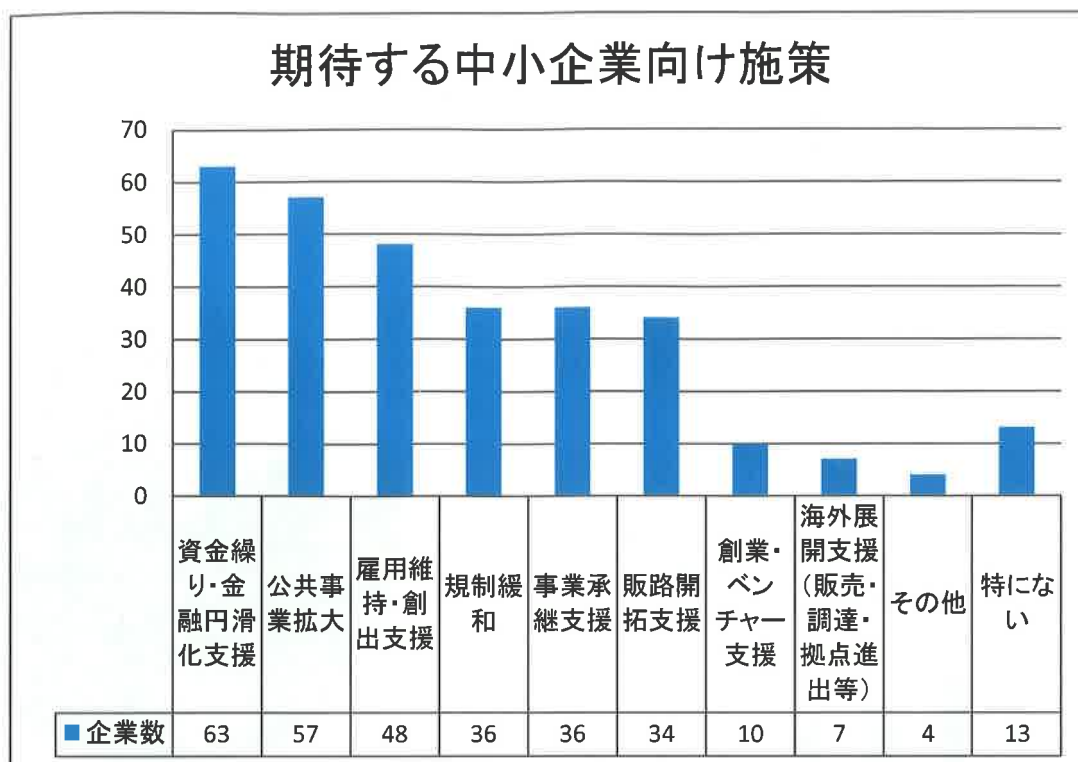
問1. 貴社では、政権交代による景気押し上げ効果を感じていますか。



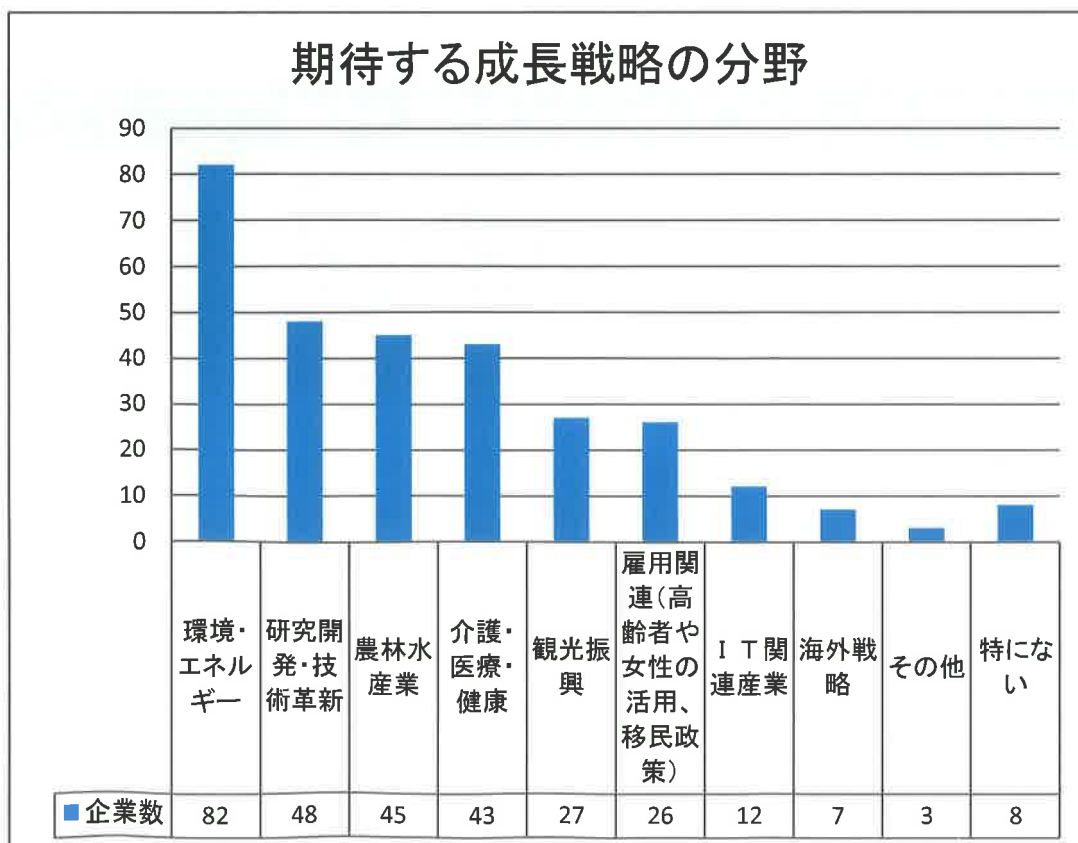
問2. 貴社では、新政権によるどのような政策に期待していますか。最大3つまでお答えください。



問3. 貴社では、新政権によるどのような中小企業向け施策に期待していますか。最大3つまでお答えください。

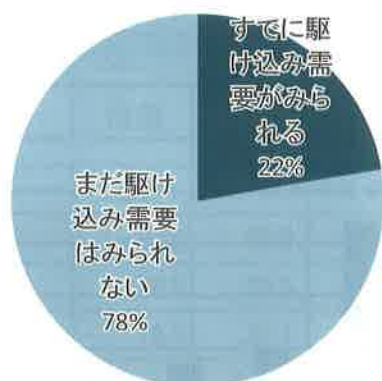


問4. 貴社では、新政権が取り組む成長戦略において、どのような分野に期待していますか。最大3つまでお答えください。

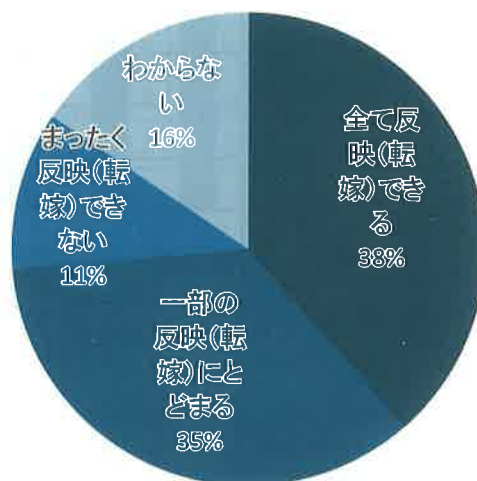


問5. 平成25年度以降、段階的な消費税率の引上げが予定されていますが、貴社の事業展開上、駆け込み需要と思われる需要の変化はみられますか。また、今般の消費税率の引上げ分について、販売価格にどの程度反映（転嫁）できると考えていますか。

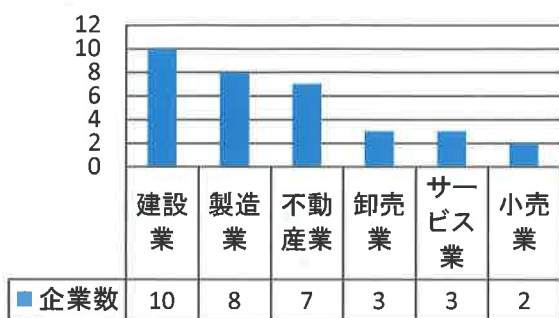
駆け込み需要



消費税引上げ分の反映（転嫁）



駆け込み需要がみられると回答のあった企業



■ 調査要領 ■

- 調査対象
当金庫営業エリア内の中小企業
- 調査時期
2013年2月21日～3月7日
- 調査方法
当金庫職員による訪問聞き取り調査
- 分析方法
D I を中心に分析
- 季節変動について

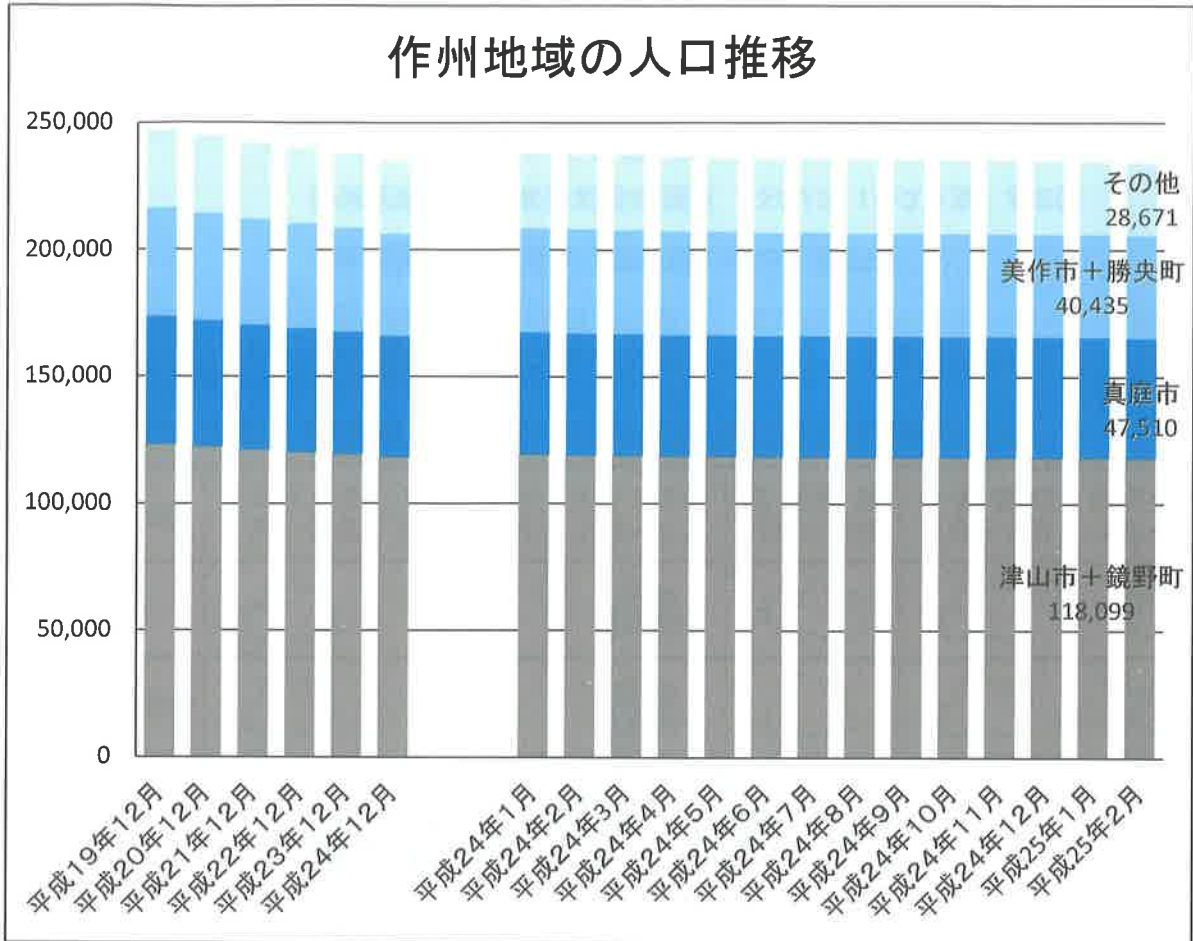
■ 調査対象 ■

地区別	企業数	従業員規模別	企業数	比率
津山鏡野地域	90	1～4人	14	9.5%
真庭地域	31	5～9人	27	18.2%
美作勝央地域	27	10～19人	41	27.7%
総計	148	20～29人	23	15.5%
		30～39人	9	6.1%
		40～49人	12	8.1%
		50～99人	9	6.1%
		100～199人	9	6.1%
		200～300人	4	2.7%
		総計	148	100.0%
業種別	企業数			
製造業	49			
建設業	26			
卸売業	14			
小売業	23			
不動産業	10			
サービス業	26			
総計	148			

業況判断D I は、毎年1～3月期に低下し、4～6月期に上昇するという季節的な変動（季節変動）がありますが、当金庫の分析においては季節変動の調整（季節調整）は行っておりません。

※ 本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。また、掲載資料は正確性・安全性を保証するものではありません。

(参考) 作州地域の人口推移



岡山県人口約193万人の内、作州地域の人口は234,715人で12.1%の割合となっており、その割合は毎年徐々に減少している。平成25年2月時点では前年同月比2,843人減少となっており、過去5か年平均の2,374人を上回っている。地域住民の高齢化と少子化が続いていると推測され、作州地域を商圏とする企業の経営上の問題点となっている。

■ 作州地域のパートナー ■

●本調査は、信金中央金庫が実施する「全国中小企業景気動向調査」の調査表を使用しています。信金中央金庫の『中小企業景況レポート』は、全国約16,000社の中小企業を全国270の信用金庫職員が面接により調査したものです。

●当金庫が目指す姿は「作州地域のパートナー」です。その意図は、「我々は、主役であるお客様や地域を支える「パートナー」でありたい。よき脇役、よき裏方として、お客様と相互理解の下、切磋琢磨し、お互いに高め合う存在でありたい」というものです。本業を真剣に取り組み、我々の意見にも耳を傾けて頂き、協力し合えるお客様を我々はお手伝い致します。

●今年が美作国建国1300年です。つしんでは美作国建国1300年記念定期預金第一弾(懸賞金つき金利上乘せ定期)と第二弾(ありがとうキャンペーン)を5月末日まで取扱中です。本定期預金新規契約金額総額の0.025%をイベントサポート費として美作国建国1300年記念事業実行委員会に寄付します。法人も預入可能です。地域のイベントを盛り上げましょう。

●課題解決型営業(お客様の悩みを知り、その課題を解決していく行動の実践)を行なっています。お客様にご満足いただきますようにご提案や情報提供させていただきますのでお気軽にご相談ください。

(ご相談の例: でんさいネット、海外進出に関するご相談、事業承継のご相談、M&A(事業譲渡や事業譲受)、保険商品のご相談、不動産のご相談情報提供等)



岡山県津山市山下30-15

0868-22-4121

営業支援部

(担当：杉山裕昭)